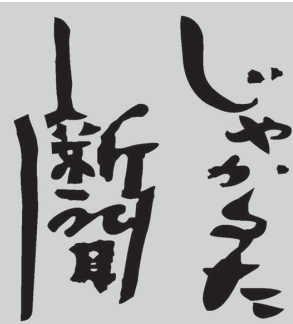


留学生、5年で倍増

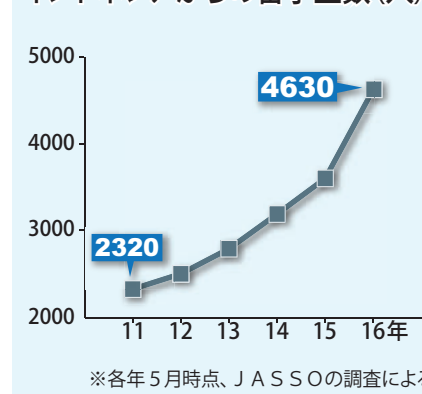


日本語学校は6倍に

日本留学を志すインドネシア人学生向けの第24回日本留学フェアが、10月7日に東ジャワ州スラバヤのスクエア・ホールで、8日に中央ジャカルタのジャカルタ・コンベンションセンター(JCC)で開かれる。日本へ留学するインドネシア人は過去5年で倍増しており、各学校は英語プログラムや奨学金の充実を図っている。学生にとっては一度に情報収集できる機会となりそうだ。(木村綾)

留学フェアは日本学生支援機構(JASSO)が主催。大学や専門学校、日本語学校など、スラバヤで49機関、ジャカルタで79機関が出展し、留学情報を提供する。JASSOの調査によると、インドネシア人留学生数は2016年、4630人を記録し、11年からの5年で倍増した。学校別では、大学・大学院への留学が全体の65%を占めているが、全体の65%を占めている。

インドネシアからの留学生数(人)

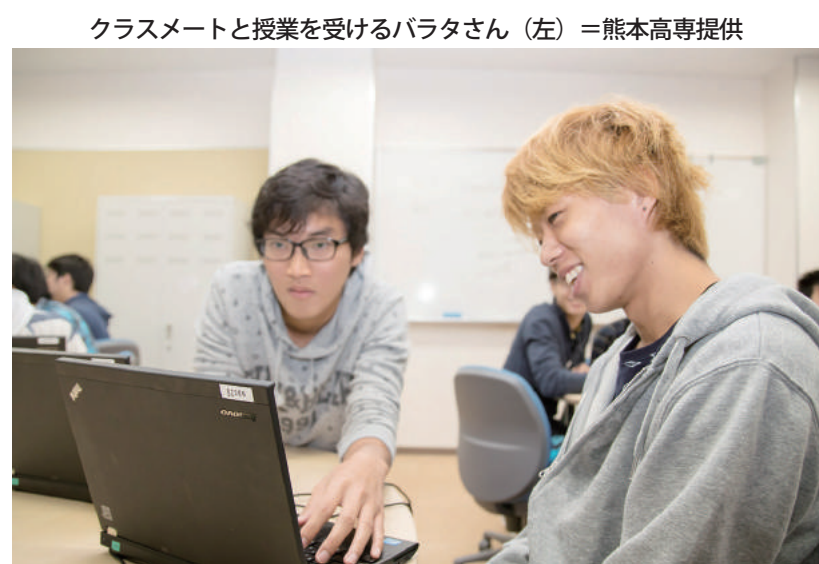


そんな中、ロコモで留学生を獲得し、着実に増やしているのが日本語学校だ。インドネシア人留学生は16年現在9600人で、過去5年で6倍に伸びている。中でも大阪外語学院(大阪府)は、ここ2年でイン

ドネシア人学生が約1000人増えた。10月には約30人が新たに入学してインドネシア人学生は約1200人となり、学生全体の3分の1を占めるようになるという。同学院でインドネシア人留学生を担当する中平誠さんは「学生が友達を紹介し、その友達にまた紹介してというように、2年前から急に増え始めた」と話す。大阪の都心にあり、アルバイトがしやすい▽学校近くに学生寮がある▽ムスリム向けの礼拝室がある———ことなどが評判を呼んでいる。

技術者育成の場

技術教育に力を入れたインドネシアで、日本独自の高等専門学校(高専)への注目が高まっている。実験や実習を重視したカリキュラムに定評があり、留学生の9割は卒業後、日本の大学に進学している。



クラスメートと授業を受けるバラタさん(左) = 熊本高専提供

「高専」、9割が大学進学

高専は中学卒業生を対象にした5年制の学校で、高度経済成長期の1962年、技術者の育成を目的に設置された。504人いる留学生のうちインドネシア人は58人(2016年5月時点)。

多くが国費留学生で、1年間日本語を学んだ後、高専3年生に編入する。バラタ・トゥリプラムディア・オンゴさん(22)は、ジャカルタ特別州内のインターナショナルスクールを卒業後、熊本高専の人間情報システム工学科に編入した。子どもどころからチェスが好きで選手としても活躍したバラタさんは、チェスソフトの人工知能に興味を持ち、「日本の技術に憧れて、日本留学を考えるようになった」と言う。

だが高校まで日本語を学ぶ機会はなく、高専の存在も知らなかった。大学の留学も考えたが、「専門的な知識を身につけたい」と高専を選んだ。

国立高専では原則、留学生も日本語で授業を受ける。現在5年生のバラタさんは「実験が多く、ほとんど毎週レポートを作らなければならぬ。大変だけど、努力すれば成績は上がる」と流ちょうな日本語で話す。

課題は知名度の低さだが、海外で高専教育の導入を目指す動きも広がっている。モンゴルでは高専の元留学生が14年に高専3校を開設。インドネシアでも、既存の職業訓練高校(SMK)に高専教育を取り入れようと、教育文化省などが取り組んでいる。高専機構の担当者は「訪問団を作って日本の高専を見学しに来るなど、熱心さを感じる」と話し、高専の海外展開にも注目が集まる。(木村綾)

英語で学位就職支援も

東京国際大学

東京国際大学(本部・埼玉県川越市)は2014年4月に始めた、英語で学位が取れるプログラム「Eトラック」が好評だ。約60カ国620人が在籍し、うちインドネシア人学生は約90人になる。大学はこれまで、4月、ジャカルタに単独事務所を開設し、増える留学希望者に対応している。Eトラックには現在、ピ

ジネスエコノミクスと国際関係の二つのプログラムがある。成績優秀者には最大で全額授業料減免を用意。就職支援にも力を入れ、1年次からカウンセラーが相談に乗り、日本企業への就活ノウハウを解説するほか、日本語だけでなく英語でのインターンシップ先も提供している。

Eトラック推進室の関口俊介・統括部長は「日本語で学ぶことが留学生にとって大きなハードルになっている」と英語プログラム導入の背景を話す。

中央ジャカルタ区内の進学校を卒業後、15年に同大に入学したステファン・ハルトノさん(20)は「日本の大学に留学する友達は、大学入学前に、日本語学校に1年以上通わな

日本体験で理解深める UNJ

日本留学は高根の花。日本語を学びながらも学費や物価が高いといった先入観は根強くあり、日本ではなく隣国への留学を選ぶインドネシアの学生は依然として多い。

2006年に開設されたばかりのジャカルタ国立大学(UNJ)日本語教育学科は、「まず短期留学」として学生にアドバイスしている。ある程度の日本語能力を身に付けた3年生後期から4年生を対象に絞り、約半年間の留学で一定の成果を求め



日本語の授業で発表する生徒

3年生のアフィタリア・ホラタンさん(21)は、UNJと協定を結ぶ大阪経済法科大学に5カ月間留学した。「授業は週4日。最も力がかかったのは会話力」と話す。テキストやイントロダクション・キホーテでアルバイトも体験し、「おもてなし」など日本の接客方法や文化を直接学ぶ機会も得られた。でも半年はあつという間、読解力・作文力など総合的な日本語能力を向上させるまでには至らなかった。

UNJでは単位交換ができる大学間協定はまだないため、休学して留学するのが前提だ。日本語教育学科長のユニアルシ氏は「提携を組む大

Study in Japan Fair 2017

SURABAYA
Sabtu, 7 Oktober 2017
Upacara Pembukaan, 09.30 - 10.00 WIB
Konsultasi Individu, 10.00 - 16.00 WIB
The Square Ballroom at ICBC Center, Lantai 3
Jl. Basuki Rahmat 16-18, Surabaya

JAKARTA
Minggu, 8 Oktober 2017
Upacara Pembukaan, 10.30 - 11.00 WIB
Konsultasi Individu, 11.00 - 17.00 WIB
Assembly Hall
Balai Sidang Jakarta Convention Center (JCC)
Jl. Gatot Subroto, Jakarta

Diikuti oleh perwakilan langsung dari Jepang :
 ■ Universitas Negeri, Local Public & Swasta
 ■ Professional Training College
 ■ Lembaga Pendidikan Bahasa Jepang
 ■ dll

Dapatkan :
 ■ Informasi Beasiswa
 ■ Konsultasi Pendidikan
 ■ Penjelasan Umum Pendidikan di Jepang
 ■ Pengalaman Belajar di Jepang
 ■ Pengenalan Budaya Jepang

Didukung oleh :
 ■ Kedutaan Besar Jepang di Indonesia
 ■ Konsulat Jenderal Jepang di Surabaya

Bekerjasama dengan :
 ■ The Japan Foundation, Jakarta

GRATIS TERBUKA UNTUK UMUM

Informasi lebih lanjut : JASSO JEIC Jakarta Telp. : 021-2521912 | Email : info@jasso.or.id | http://www.jasso.or.id

REALISASIKAN MIMPIMU

Kami akan memberikan informasi tentang kehidupan dan belajar di Jepang

PERHIMPUNAN ALUMNI PERSADA DARI JEPANG

PERSADA
(インドネシア元日本留学生協会)

Pada tanggal 5 Juli 1963 PERSADA (Perhimpunan Alumni Dari Jepang) didirikan sebagai suatu wadah bersatunya para pelajar/mahasiswa/magang Indonesia dari seluruh angkatan baik yang datang sebelum maupun setelah proklamasi kemerdekaan Republik Indonesia, baik melalui beasiswa pemerintah/swasta atau yang lainnya. Kini, setidaknya 1000 anggota telah mengikuti.

Sekretariat Persada : Universitas Darma Persada, Jalan Raden Inten II, Pondok Kelapa Jakarta Timur 13450
TEL: +62-21-864-7373 FAX: +62-21-8690-0241 Email: info@sadnet.or.id www.sadnet.or.id